



かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311

記念祭まであと100日

大教会では、110周年を期に、新しい時代に相応しい設備の整備が進んでいます。バリアフリーの世相を受け、神殿正面石段の両側には手すりが取り付けられ、一階玄関にはスロープとエレベーターが付き、自動車から神殿まで車椅子に乗って移動できるようになりました。



また、神殿南側中庭の樹木を移植し、多目的広場として利用できるようにインターロック(レンガタイル)が敷き詰められ、引き続き、ピロティ用防風壁の工作に取りかかっています。

記念祭まであと100日。
九月からは障子張り・池の水換え・植木の剪定……と、ひのきしんはまだまだ続きますが、形のみしんに先行して心のふしんを進められるよう、実践項目の完遂に向け、さらに弛まずとめさせ頂きましょう。

笠岡大教会 創立110周年

三年千日スローガン

論達を實踐し、をやの理を戴こう

本年の實踐項目

- 一、おさづけの取り次ぎ
- 一、陽気ぐらし講座と百万軒にをいがけ
- 一、一万人のおぢばがえり

真夏の祭典 “こどもおぢばがえり”

今夏も28万余の帰参者を集めて無事終了

今年も夏恒例の「こどもおぢばがえり」が十日間に亘って親里周辺を会場に開催されました。大教会からは先ず7月26日に高屋・久松団体が、29日には直轄1・2と福山団体がそれぞれJR団体列車で、また、島根・上下・府中市や他の教会も順次バスや自家用車で帰って来ました。

こども達は連日の猛暑の中も元気に、生きる喜びを味わいながら行事を楽しみ、夜は詰所の中庭で開かれたゲームや模擬店で遊びながら涼みました。

また、直轄・福山・高屋・島根の各鼓笛隊は日頃の練習の成果を親神様・教祖に御供りなく金賞に近い“銀賞”に選ばれました。

また、詰所では晴れの日を選んでのふとん干し、部屋やトイレ・食堂の大掃除など、大勢の宿泊者にそなえ、準備に大わらわでした。

今年も多くの人の真実により大きな事故もなく、無事に「こどもおぢばがえり」は終了しました。なお、おぢばは期間中に全国各地から28万5千人余の帰参者で賑わいました。

まちにまじりたいこどもおぢばがえり

上下分教会 田中愛理(小四)

私は、まい年、こどもおぢばがえりがまちまじりして、たまりません。今年も早くからクラスの友達をさそって、自分でおつとめのおてふりを教えてあげたりしました。学校での友達とのおしゃべりはいつもこどもおぢばがえりの事ばかりで、みんなもとても楽しみにしてました。

そしていよいよその日がやってきました。まず、おぢばについてすぐ、みんなでさんぱいしました。そのあと、3つのお約そくの話とビデオかんしようをしました。「物を大切にします・生きるよろこびを味わいます・仲よくたすけ合います。」この三つをすこしでも守れるように、どりよくしたいと思いました。そして1日目で一番楽しみにしていたパレード、友だちの由真ちゃんと感どうしなが



ら、みました。「私もいつかこてきたいに入つて、パレードにさんかしたいなあ。」と思いました。そして二日目、けっせんになじや村、土持ちひのきしん、あせをたくさんながしたあと、プールに入つてすぐ気持ちよかったです。楽しみにしていた、商店がいでのお買い物、つめしよでの夜店。あつという間に3日は終わってしまいました。

私をはじめ、こどもおぢばがえりにきたのは、しゅうようかに出ていた、お母さんのおなかの中にいるときでした。「お母さんのおなかの中でいつしよにひのきしんしてたんだよ!」とおしえてもらいました。わたしももう少しおおきくなつたら、こどもおぢばがえりに少年ひのきしんたいとしてさんかしてみたいと思います。そして、いろんな所の人とたくさん友だちになれるといいなと思いました。

こどもおぢばがえり

(井原) 瀬藤謙徳

なぜぼくが、こどもおぢばがえりに行ったのでしょうか。

それは、夏休みに、どこも行く所がなかったからです。でも今年は、行きたかったからです。

こどもおぢばがえりの少し前のことです。

ぼくははやくこないかなと思っていました。

行く用意もできて、まちきれないほど楽しみです。

少しのふあんは、電車の中では、どうしよう

かなと思っていました。でも、こどもおぢばがえりにつくと、もうあんしんです。

さつそく入ると広いへやです。クーラーもきいていてすずしいへやです。

まずパレードを見に行きました。パレードの組

は五十一組もありました。パレードのこうしんは

みんながそろっていて、リズムがよくって、ぼく

はなんだかわからないけどわくわくしました。

次の日は、アタックワールドと忍じゃ村が楽し

かったです。

アタックワールドとは、いろいろなゲームをし

て、カードに丸をつけてもらってカードをもら

ゲームです。

けつせん忍じゃ村とは、水でつぼうで忍じゃに

水をかける遊びです。ななめのゆかやめいろいろ

ありました。

そして、とうとう帰る日がきました。

おぢばから帰ってぼくは、元気な声で

「ただいま。」

と言いました。きよ年より一日少なかったけど、

ぼくはしつかり楽しみました。

三つの約束

(平田) 津森美教

ぼくは、最近まで、三つの約束をどういうふう

にすればうまく守れるのか、わかりませんでした。

でも、最近になってやっとそのこたえができました。

それば、おぢばへ行って楽しく過ごすごことです。

なぜかというと、おぢばへ行けば、自然と約束が

守れるからです。たとえば、食堂では、友達には

しをわたしたり、お茶をついだり自然にしていま

す。ふだん学校では、いろいろな物をすぐ残してし

まうけれど、おぢばではなるべく残さないように

みんなで助けあっています。

特に鼓笛では、自分の楽器を大切にし、すばらし

い演奏をするという目標に向かってみんなです

けあい、ふだんのつらいこといやなこと、つらかつ

た練習もわすれて楽しく過ごします。楽しく過ご

すということは、

「おぢばへ無事帰らせて頂きこんな楽しい思いを

することができました。」と親神様への感謝の

気持ちかわき、自然と生きるよるこびがあじわえ

るとぼくは思います。

三つの約束はおぢばだけにするんじゃないから、

おぢばでその基礎をしつかり学び、家に帰ってからもいろいろな所でできるようになれば一番いいと思います。

おぢばで、たくさんよろこび、思いっきり楽しみ、そして新しい仲間に出会いました。最後の別れは悲しいけれど、新しい仲間ができたという思い出を心にしまい、これからの生活に生かしていきたいと思えます。

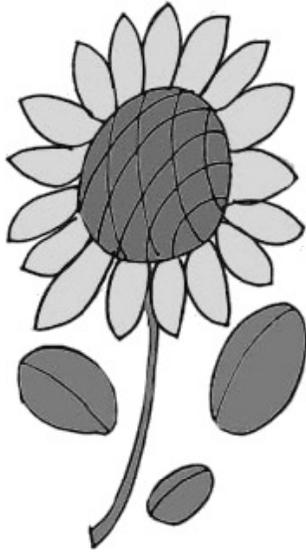


いよいよおぢばがえりに参加!

(笠岡) 佃 美佳

私は、3年ころから「おぢばがえり」というのを知って、行き始めました。私は、五年生まではたんにおつとめをしたり、ひのきしんをしたり、遊んだりするだけだと思っていただけ、六年生になつて「鼓笛」というのがあると知りました。私はその鼓笛に入っている友達に紹介され鼓笛に入りました。その鼓笛の名前は「笠岡団笠岡むつみ」といいます。それは、とても楽しく係員の人もやさしくしてくれ、私はそれが楽しく今もやっています。私は、毎年おぢばのころになるとはやく行きたいなあ。といういろと考えます。

そして、おぢばに在る4日間は気温も暑くみんなばてばてになつて在るけど、遊び場所になると、みんな元気になります。私は、暑さに負けて、日陰に入つてずつと休けいしています。いつも思うことは、みんな元気ありすぎと思います。そして、帰るころになるとみんな4日間が短く



かんじたとか、まだおりたいといつて在ます。私もそれはいつしよの気持ちです。

おぢばがえりに必要なのは、団体行動の大切さ、私は、団体行動をせずみんなが心配して在るのも知らず、友達といつしよにほかの部屋へ行つて在ました。そして、次の日の朝、私はそれを注意されました。その時に、団体行動の大切さを覚えました。

おぢばに行つたことのない人は、「おぢばなんか楽しい?」と聞いてきます。聞いてくる人は自分でおぢばに行つてたしかめてみればいいと思ひます。

おぢばがえりは本当にたくさんのおぢばを知ります。もののおぢば、たすけあいの大切さ、おぢばがえりに参加してこうかいたことはありませぬ。私は、来年はひのきしんにも参加したいと思つて在ます。

おぢばがえりはとても楽しいです。みんなも参加して友達をつくり、また来年も行きたいなあ。と思つようになつてくたさい。

いい思い出になつた いよいよおぢばがえり

(新市) 中山 真奈美

参加するまでは、とても不安でドキドキして在ました。でも、不安がなくなり、だんだん楽しくなつてきた。始めは、神殿でおつとめをしました。



何をすればいいのか、よく分からなくて、周りの人を見て、やつて在ました。次は廻廊ひのきしんをしました。で、チャレンジ遊びの世界では、いろいろな遊具にのつて遊んだ。のどがかわいて、少年ひのきしん隊員の人達の冷たいお茶で、かわいたのどもスッキリしました。なんと次は、恐怖の館。おそろおそろ入つたら、ゾンビが、おいかけてきて、とてもこわかつた。

いつたん宿舎に帰つて、大部屋で説明を、聞いた。食事をして、パレードを見にいきました。高校生のお兄さん達が、ゲームをしてくれました。まず、おつとめをして、おやさつとパレードの始まりの花火が、あつて、いよいよ始まり。小さい子から、お年寄りまで、参加して在たので、とても、びつくりしました。にぎやかな、鼓笛隊のみんなが、パトロンや、ボンボン・横笛など、いろいろやつて在ました。すごかつたです。とても感動しまし

た。宿舎に帰って入浴、その間、班会議、班長会がありました。10時しようとう。電気をけして、いろんな話をしたり、とてもたのしい1日をすごしました。2日め、長しまスパーランドに行くから、5時15分起しようでした。朝早いから、ちよつとねむたかったです。でも、わたしが一番楽しみにしていたところが長しまスパーランドでした。遊園地で、ジェットコースターとかは、ちよつとこわくて、のらず、空中ブランコを2回ものつてしまいました。でも、いがいと楽しかったです。あともう1個はゴーカートのをりました。楽しかったです。次はプールで 十種類ものプールがあつたので、びつくりしました。

水は、しょっぱくて、目が痛かった。ジュースとか、買ってのんだ。おいしかった。

3日目…。初めは、やかた講話で、「助け合い」のビデオを見ました。次に、バライティー164を見ました。歌やおどりが、すごく、じょうずでした。マジックもじょうずでした。カッコよかったです。次は、アチコチランドで、いろんな場所を見て回つたり、おにいさんといろんな、はなしをしたりして、あつという間に時間になつてしまいました。昼は、カレーを食べて、おいしかったので、おかわりをしました。そしてバスにのつて、いよいよ、お別れ、次々とバスから、人がおりていき、だんだん、少なくなり、さみしくなりました。

バスや交流の中で、いっぱい友達ができ、いろんな、思い出ができて、本当に、よかったです。

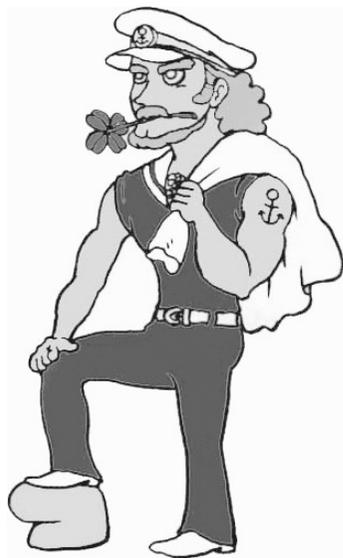
第59回英語講習会開催

今年の英語講習会は8月6日から8日にかけて、大教会を会場にして開催されました。1968年から始まつて、今回で59回目を数えます。

今年の講師には、本部の天理教語学院(TLI)より、井上純子トゥリーナ先生(東中央大・ハワイセントラル所属)をお迎えしました。とても親しみやすく、魅力的で素敵な女性でした(何年か男の先生が続きましたので余計新鮮な感じがしました)。

受講者はスタッフ5名、受講生21名の合計26名でした。受講生の内訳は中学一年生8名、中学二年生9名、中学三年生2名、高校一年生1名といったものでした。

今年はスタッフの数が例年に比べ少なく、手薄な感が否めませんでした。その分パソコンの教材が充実しておりました。今年はパソコンにマイ



クを取り付け、発音の練習をみっちりとする事ができました。正確な発音をすると、パソコンからOKをもらえますが、発音が違うとなかなかOKがもらえず、みな四苦八苦しながらも歓声を上げて練習に取り組んでいました。講師の先生が発音しますと1回でOKがでますので、皆やつぱり違うねと感心しておりました。

一日目の夜は、大教会長様からプロジェクトをお借りして、ディズニ一の最新映画「ダイナソー」をさながら映画館にいるように見せて頂きました。二日目には、例年の海水浴を取りやめました。倉敷市にある倉敷科学センターに出かけました。全天周映画「エベレスト」が上映されており、その迫力に圧倒されました。次にプラネタリウムで夏の星座を見せていただき、連日の猛暑を忘れて、ひと時の清涼感を味わいました。三日目にはハーブというゲームを通して、お互いの連帯感を深めることができました。

この様にレッスンの合間合間にお楽しみ行事を入れていただき、あつという間に過ぎ去つた三日間でした。英語という、しり込みする人が多いようですが、楽しく学べる英語講習会です。何卒、多くの方々に英語講習会参加のお声がけを下さるとともに、積極的なご助言・ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、連日おいしい食事を作ってくださいました、大教会の奥様方に厚く御礼申し上げます。

心を通ひ路

納涼まつり

海潮川分教会長 高島 寛

八月三日、今年も納涼まつりのお手伝いとして支部青年会が呼ばれた。

出雲市から9号線を西へ5く6km、南側に神西湖があり、北側に100m入った場所に養護学校・ふたば園がある。この学園は、知的障害のある人達の施設で10代く40代位の人が入園している。

ここでは、年に2回、対外的に開放している祭りがあり、夏は納涼まつり、秋には、学園でつくっている農作物の収穫祭がある。

夕方6時、我々支部青年会をふくめたボランティア団体の人達は、学園に集合、控室に通され、学園のハッピを借りて、模擬店や駐車場の手伝いをさせてもらう。

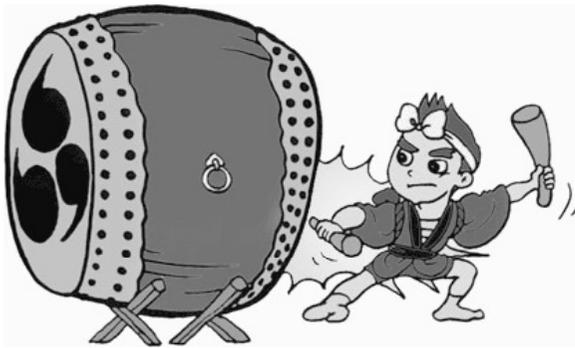
6時30分、祭りは、学園長の挨拶で始まり、ステージでは、学園生の合唱・合奏・カラオケ、ボランティアの踊りなど、様々な出し物が続く。会場では、学園生やその家族、近所の人々が大勢集まり、笑顔が溢れる中、8時40分、終了。学園生・職員・ボランティアで後片付けをして、9時10分散散となる。

この祭りは、学園生と家族・近所の人達とのふれあいの場であり、学園と外との交流の場となっている。

支部の青年会は、4期前の委員長・簸ノ川分教会の津森さんの時から、10年以上、学園に出入りさせて頂いている。最初は、ハートクリーニング活動の一つとして行なっていたが、介護の資格などの問題があり、今は学園からの依頼がある時だけ参加させて頂いている。

我々の立場としては、..においがけ..ひのきしん..として行かせて頂いている。喜んで頂ければ、それでよいのだが、将来的には、..おちびがえり..してもらえれば、とも思う。

学園としてみれば、我々はボランティア団体の一つであって、それ以上でも、それ以下でもないだろうが、今は、我々の自己満足で終わらないように、ボランティアとひのきしんの違いを学園の人達にも理解して頂けるように努めたいと考えている。



明日への志向

品治分教会長 渡邊 眞次

目がさめて、窓を開ける、まだ何処も灯のついた家はない、皆変りなく今朝もすばらしい朝を、日の出を迎える事が出来そうである。

今朝はあれをして、あそこへ行つて、あの人が来られたら、暮れる迄外の事して、夜は書物を、あの事も先に済ませた方がいい。一日の計は早朝にありと言う。母は今この道中を通りきるにはと考へて、早起きを実行すること六十有余年、一日も欠かすことがない。今八十九才だがまだ一度も入院したことはない。昭和廿年、十才を頭に五人の子を連れて朝鮮から引き揚げ、父(主人)の戦死を聞いて、因縁納消と、初代の後を受け継ぐ為、教会へ移り住んだ。信者はなかった。中学一年を頭に五人の子を置いて、正月をはさんだ一番寒い時、修養科へ出た。費用は若干の衣類を売り、後は神様におまかせする積りが、数日前、全部盗難に遭った。それでもお金を借りて、三ヶ月は必死で通ったようだ。そして検定講習と、その留守を守る我々は若輩と云うより幼子だった。不自由な中を工面し力を合せ、家事もおつとめも勉強も、人に頼らず通つて来られた。

もう二度と経験することは出来ないと思う。或る信者が、修養科へ入ると日参をしておられたが、お茶の出し方も、世間も、挨拶の仕方も解らない子ばかりの姿に、わびしく淋しく思われたのか、

途中で止められた。今その人が続いて信心されておれば・・・残念乍ら不運続きだった。私も九分九厘救からない身上も全快。今よるこべる元がここにある。あの時の事思えば、どんな中も通れる自信が、本当に苦しい時は、歯をくいしばって苦しいと云う前につらいと思うよりファイトが湧く。今を通り抜かねばと、だから早起きを実行することを、昔話をしてくれる中に教えてくれた。そして「歩いて歩いて、運んで運んだ処が今教会に繋がっている人達だよ。」と、これ又、布教おさづけの取次ぎの大切さを教えてくれる。

「あゝ無情」(ジャンバルジャン)の本を老奥様より、留守中に頂いた。指折り数え待つ家族への暖かい親心を、何十回も読んだ、真面目な生き方も学んだ。今もこれからも忘れられない。

今日一日が家族の為に、どう変っていくか、今日一日が信者の家々にもたらす影響は、今日一日が、一生を左右することになるかも、今日のつとめは一生の生涯の為の一日である。

早朝に頭をよぎる志向、今日も三百人位(夢)参つて来るぞ、と嬉しくて寝ておられない。

大教会だより

II 教会指令 II

◎任命願・神殿増築願

大江橋 分教会

*前任 村川 秀夫

*新任 村川 和司

立教164年7月26日承認

ふたこと みこと

二年程前から一月・七月末は憂うつだ。

郵便配達バイクの音がする度に落ちつかない。郵便受けを開けて見て「あー今日も生き延びた」とホッとする。こんな事が連日繰り返される。それにしても一と思つて恐る恐る覗いて見る。やっぱりだ。入っている。例の物が。首筋がブルブルと震える。

戦時下の赤紙の召集令状ごとく、封筒の表の左側に『かさおか』誌原稿依頼という赤文字がさん然と輝いているのだ。本人の意思に関係なくこの赤文字は絶対なものなのだ。

意を決して封を開ける。

「日々は、道の「用の上に」丹精くだされ、誠に「苦勞様で」ございます。さて、不景氣極らない昨今ですが、この度、貴殿は、芽出度くも、笠岡大教会機関誌『かさおか』八月号の編集後記「ふたことみこと」の執筆当番に当選されましたので、ここに、原稿用紙を贈り、その幸運を讃えます。おめでと「ございませう」という芽出度くない前書きにはじまり記事内容・記述についての事細かな諸注意、更には返信用の封筒までが入っているのだ。

私は日の出と共に大教会の方に向い、拝礼しその紙を太陽に透かして見るのだ。少しずり落ち気味の黒ぶちメガネの上からギョロッと目を出し、こちらの心を見ぬくがごとく、ニタツと笑つて、メ切日はちゃんと守つて下さいヨ。僕もいろいろ忙しいんだからー」と大教会の〇先生の顔が浮かび上がってくる。ハハーと平伏す私。憂うつな日々がこれから当分続くのだ。

今度こそと思うのだが、今月もまた遅れてしまった。〇先生の大変さは誰よりも誰よりもこの私が一番よく知っています。ハイッ。

【〇先生より】返信用封筒から原稿用紙を取り出すと、正に、右の通りの文章が認められていた。

これは、私への残暑見舞いかと思いきや、肝腎の「編集後記」の原稿用紙が見当たらない。よく見れば、右の文章の各頁には頁番号が振つてある。「はて？」立秋後も続く毎夜の熱帯夜で融解寸前の私のおつむでは真意を解し兼ねる。今日は8月15日、終戦記念日でもある。「召集令状」は無効になったとでも仰るのか？

昨朝の『讀賣新聞』の「編集手帳」に、
◆孫子の兵法には「囲師は周するなかれ」とある。…完全包囲すれば相手は、万策尽きてがむしゃらな強行突破を試みかねないから、との教えだ

とある。中国の唐外相に「靖国参拝をやめろ」と追い詰められた小泉首相が、万策尽きて13日に参拝したことを指したものだ。

なるほど!!..ふたことみこと。の執筆者は、熟慮に熟慮を重ねてこの原稿を返してこられたのか!、ということとは、その意は、虚心坦懐(何の拘りもなく穏やかな気持ち)か?矢張り、私のお脳はとろけている。

七月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎しんで申し上げます

親神様の子供かわいいい一条の親心によります天然自然の御恵みのまにく季節は梅雨が明け夏本番を迎えさせて頂きました 当然これからも暑い日が続き過ぎにくい旬でありますすがこれもより良い実りの秋を迎える為の一時の事と思えば有難く同様に成つて来る理は全て救いたい陽気ぐらしをさせてやりたいとの親心の現れと思えば有難く改めて親神様の御恵みの有り難さをかみしめている次第でございます 私共は日々御恵みに御礼申し上げると共にご恩報じを思い念じてつくし運びに又にをいがけおたすけにとたすけ一条の上に勤め励ませて頂いておりますがその中にも今日の吉日はこれの七月の月次祭を執り行う日柄でございますので只今からおつとめ奉仕者一同喜び心も一入に明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめさせて頂きます御前には折柄の暑さを厭わず今日の日を楽しみに寄り集いました皆の真実の状をご覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて今年も子供おちば帰りが開催されますが本年の一人おちばがえりの実践項目が実数となるべくより多くの子供を誘つておちばに帰らせて頂くだけでなく「この家へやつて来る者に喜ばさずには一人も帰されん」との親心を少しでも感じて貰えるように勤めさせて頂く所存でございます 更には又この夏休みを利用して特に八月は学生生徒修養会や英語講習会等に参加して貰うだけでなく少しでも子供達と接する機会を増やすべく触れ合い強調月間との思いを持ち道の後継者の育成に力を注いでいく所存でございます 加えて八月二十六日の祈願のおちば帰りにには大人も子供もこぞつて参加出来るよう声掛け丹精に力注いで行く覚悟でございます

何卒親神様には旬々の成人怠る事なく思召に添う皆の真実誠の心をお受け取り下さいまして万たすけの上に尚も自由の御守護をお現し下さいまして人々の心が澄み切りお望み下さる陽気ぐらしの世の状に一日も早くお導き下さいますよう一同と共に慎んでお願い申し上げます

地域と系統(教会)が一丸となって全家庭へにをいがけをしよう!

立教164年 全教一斉にをいがけデー

大意 『諭達第一号』を受けて実動二年目の「全教一斉にをいがけデー」は、一斉活動日を9月28日・29日・30日と定め、地域と系統が一丸となって進められます。大教会では、9月は、にをいがけ強調月間として1日から30日までを、また、青年会笠岡分会の9月2日(日)から9日(日)までの全分会布教推進週間を、共々に勇んで、合力してつとめさせて頂きましよう。

期日 9月1日～30日 笠岡大教会布教強調月間
9月2日～9日 青年会笠岡分会全分会布教推進週間
9月28日・29日・30日 一斉活動日(支部・組を通して)

内容 戸別訪問、リーフレット・チラシを個人宅へ配布

対象 教会長を先頭に、よふばく・信者(婦人会・青年会・学生会・少年会)

報告 参加者数を、支部を通して教区へ、必ず報告して下さい(報告書は支部より配布)。

※例年を上回る参加者を目指して……来年は70周年の年です。